

科目名		日常生活活動学		授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	前期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
ADLの基礎と福祉用具に関する知識を習得する							
〔授業全体の内容の概要〕							
授業形態は講義と実技を中心に行います							
〔講師の実務経験〕							
医療センターにて急性期から回復期リハビリテーションに理学療法士として7年間勤務							
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕							
日常生活活動の基本を理解し、適切なADLの介入を行えるようになる。福祉用具も理解する。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	ADL概論						
3	福祉用具について						
4	福祉用具について						
5	福祉用具について						
6	脳卒中片麻痺とADL						
7	脳卒中片麻痺とADL						
8	脳卒中片麻痺とADL						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
標準理学療法学 日常生活活動学・生活環境学 第5版	鶴見隆正	医学書院

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

レポート提出・小テスト・期末試験を総合的に評価を行い、60点以上を単位認定とする。